

地域創造委員長方針

地域創造委員会
委員長 里谷 光蔵

各地方都市における人口減少を筆頭とした衰退傾向は、目を背ける事の出来ない現実です。輪島市も例外ではなく、むしろ筆頭と言っても過言ではない状況にあり、(一社)輪島青年会議所も過去には70名を超える会員を有していた時代から、現在では20数名という現状です。しかし、我々はこの紛れもない現実を真摯に受け止めた上で、この街でこの地域で生きていく事を選択しました。

我々地域創造委員会は、会員減少の現状を打開する為に、先輩方より取り組んでいる会員拡大の「種まき」を引き続き行い、今年度は色彩豊かな仲間の花を多く咲かせる為に委員会としてはもちろん、(一社)輪島青年会議所メンバー総力を挙げて、候補者の整理と新たな候補者の発掘を全力で行い、会員拡大という最重要課題に取り組みます。

人口減少や少子高齢化などが原因で地域住民の全体量が減少した現状でも、一人でも多くの市民の皆様や観光客など外部からの人たちに対して、輪島の食や文化の魅力を知っていただける「輪島あえの風冬まつり にぎわい大市」を実施します。

(一社)輪島青年会議所メンバー一人ひとりが生活基盤が輪島市にある事を再認識し、自分たちが生きている地域に対して深い関係性がある事を理解出来ることで、今後のJC運動・活動を通して、輪島に対する熱意を持って臨めるようになると思います。その為には先ず、私たちが率先して生まれ育った輪島の魅力を認識し、体感する必要があります。その中で得られた多くの魅力を発信し、輪島に訪れていただける為の仕掛けづくりが重要です。年齢や性別に関わらず、人々を惹きつける魅力を市民の皆さんと共に創造し、賑わいの創出に繋がる地域活性化に関する事業を実施します。

対外的な事業だけでなく、理事長が掲げる「ひとづくりがまちづくりに繋がるという信念」のもと、会員自身の資質向上事業を実施する事で、自分たちが成長し自企業の発展、地域の発展に繋げていきます。

最後に、JCIミッション「青年が積極的な変革を創造し開拓するに、能動的な活動ができる機会を提供する。」とあるように、我々(一社)輪島青年会議所がより良い地域を創造する為に、「積極的な変革」を実現する為の「能動的な活動」が必須だと信じ、継続する事の大切さを理解した上で、より新しく、より力強い、そして次に繋がる事業を積極的に推し進めて参ります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。